

貸借対照表（平成21年3月31日現在）

（単位：千円）

資 産	金 額	負債及び純資産	金 額
現金及び預貯金	167,318	保険契約準備金	83,948
有形固定資産	5,825	その他負債	162,891
無形固定資産	20,389	負債の部合計	246,839
その他資産	203,299	資本金	92,000
供託金	10,000	資本剰余金	62,000
		資本準備金	62,000
		利益剰余金	5,992
		その他利益剰余金	5,992
		株主資本合計	159,992
		純資産の部合計	159,992
資産の部合計	406,831	負債及び純資産の部合計	406,831

重要な会計方針に係わる事項

1. 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

不動産及び動産 定率法

無形固定資産 定額法

3. 支払備金（普通支払備金・IBNR支払備金）は、差額補充法によって積み立てています。

支払備金 2,877,314 円 当期戻入額 3,152,605 円

IBNR支払備金 3,513,572 円 当期繰入額 3,513,572 円

将来の保険金支払に備えて、法人税法に準ずる当社の計算方法で計上しております。

4. 責任準備金（普通責任準備金・異常危険準備金）は、差額補充法によって積み立てています。

責任準備金 74,025,783 円 当期戻入額 47,176,338 円

異常危険準備金 3,531,256 円 当期繰入額 3,531,256 円

5. 収益及び費用の計上基準

収益の計上基準は、発生主義に基づく実現主義を原則とします。

費用の計上基準は、発生主義を原則とします。

6. その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

#### 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

#### 貸借対照表に関する注記

- 1．有形固定資産の減価償却累計額 3,897 千円
- 2．貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している重要な固定資産として、ソフトウェアがあります。
- 3．取締役及び監査役に対する金銭債権債務はありません。
- 4．供託金 10,000,000 円は、保険業法のに基づき命じられた供託金で、供託場所は長野地方法務局佐久支局・平成 20 年度金第 224 号であります。

損益計算書 { 平成20年4月1日 } から  
 { 平成21年3月31日 } まで

(単位：千円)

科 目	金 額
経常収益	730,669
保険料等収入	685,757
保険料	418,447
再保険収入	267,310
資産運用収益	564
その他経常収益	44,348
経常費用	711,365
保険金等支払金	392,180
責任準備金等繰入額	361
事業費	318,824
経常利益	19,304
特別利益	0
特別損失	
その他特別損失	388
税引前当期純利益	18,916
法人税及び住民税	4,850
法人税等調整額	0
法人税等合計	4,850
当期純利益	14,066

損益計算書に関する注記

当事業年度の末日における発行済株式の数 10万株

・一株当たりの情報に関する注記

(1) 1株あたり純資産 1,599.92円

(2) 1株あたり当期純利益 140.66円

・重要な後発事象に関する注記

該当事項は、ありません。